

現在、神奈川県横浜市の鶴見つるみにある總持寺そうじじは、福井県にある永平寺えいへいじと並び曹洞宗そうとうしゅうの大本山となっています。

今から六百九十年前、鎌倉時代に瑩山けいざんぜんじ禅師のと能登の（現在の石川県）にあったお寺の寄進きしんを受け、「諸嶽山しょがくさん總持寺そうじじ」として開創かいそうされました。

瑩山禅師は總持寺を曹洞宗の一大修行道場にする事を決意され、「日本曹洞宗出世之道場しゅっせのどうじょう」として時の朝廷に認められるまでになりました。

つまり日本において曹洞宗の名が始めておおやけ公のものとなったのです。總持寺が永平寺と並び曹洞宗の大本山となるい謂われであります。その後、曹洞宗は瑩山禅師の多くの弟子によって全国に広められました。

總持寺は能登の地で長く曹洞宗の修行道場として多くの弟子を育て、人々の信仰を集めます。

しかし、明治三十一年に大火災におそわれ、建物のほとんどを焼失してしまいました。この火災をきっかけにして大本山である總持寺を多くの人々が集まる関東地区に移転してはどうかという声が高まり、明治四十四年に現在の横浜市鶴見の地に移されたのでした。今年の十一月五日は移転してちょうど百年を迎える日であります。

同時に能登の總持寺も復興がなされ、現在は總持寺祖院そいんとして修行道場となり、人々の信仰をあつめております。

大本山總持寺では、多くの僧侶ひびが日々修行をしております。

また、多くの方が禅の教えを学び実践できる開かれた道場でもあります。坐禅会や仏教の勉強会はもとより、様々な研修会が一般の多くの方を対象として開かれています。

また境内の広大な敷地けんそうは常に開放され、都会の喧噪を離れ信仰の中に安らかな時を過ごすことが出来ます。

そして敷地内には大学や高校、幼稚園もあり、学生は仏教の教えや坐禅の修行を基本として幅広く学び、社会に旅立って行きます。

この様に總持寺は常に社会に開かれた曹洞宗の大本山として、多くの方々の信仰の対象となり、人々の心の^よ拠り所となっているのです。

瑩山禅師は「お釈迦さまの教えは、この世界のあらゆる所に^み ^み満ち満ちている。男性であるとか女性であるとか、^{そうりよ}僧侶であるとか一般の方であるとかに関係なく、お釈迦さまの教えに^ふ触れ修行する事が大切である。」とお示しです。

まさに總持寺は、瑩山禅師の教えの通り開かれた大本山として横浜の鶴見にあり、僧侶だけでなく多くの方々が禅の教えに触れているのです。

皆さまも一度訪れてみてはいかがでしょうか？